

TateYoko journal

300人の未知なる挑戦の、舞台裏。

[vol.2] 縫製技術を支える人たちが大集合しちゃいました(笑)

2023 AUTUMN

Produce by KAZUMA

Kurashi Co., Ltd.
〒100-0001 東京都千代田区千代田 3-2-2
TEL: 03-6360-5400 FAX: 03-6360-5407

LET'S BRINGO!



1777ルナ 教馬社長

EVENT

11/3~5日 KURASIKU ポップアップストア in表参道

開催日 2023年11月3日(祝金)~5日(日)
時間 11:00~17:00
場所 ぶくいアンテナショップ291 (東京都港区南青山5-4-41) グラッセリア青山内

自然素材100%のカーテンと布雑貨「KURASIKU(クラシク)」が、3日間限定で表参道に出店。和紙布「kami」をはじめ、リネンやコットンの個性豊かな商品が並びます。さらに注目いただきたいのが、12月からクラウドファンディング「Makuke」限定で出品予定の、バンブー(竹)やヘンプ(大麻)を原料にしたカーテン。直接生地に触れる機会はこのイベントのみになります!ぜひ遊びに来てください。お待ちしております!

10/16日~20日 mini mimi expo in大阪

開催日 2023年10月16日(月)~20日(金)
時間 〇:00~〇:00
場所 (一財)大阪デザインセンター (大阪府吹田市広芝町6-17)

10/26日~29日 ててて 商談会 & 商店街 2023.秋

開催日 【商談会】2023年10月26日(木)・27日(金)
【商店街】2023年10月28日(土)・29日(日)
場所 ココ東京品川オフィス 「THE CAMPUS」

10/26日~29日 ててて 商談会 & 商店街 2023.秋

大盛況に終わった6月の展示会に続き、この秋も無事参加が決定!今回は後半28・29日の2日間、一般のお客様向けのマーケットとなり、初めて皆様と直接お披露目できることになりました。金沢の刺繍作家高知子さんと共に創り上げた、カズマの刺繍技術の集大成ともいえる作品たち。ぜひ手にとってご覧ください。

織物工場から日々大量に廃棄されている「生地耳」に命を吹き込み、新しいものに生まれ変わるアップサイクルの体験や販売、セミナーなどが開催されます。カズマからは「私たちの未来図プロジェクト」より、障がい者支援団体タクティクスさんと製作を進めてきた布雑貨が登場。約2cmの生地耳を1本1本縫い合わせて1枚の生地に仕上げ、その生地から生み出される作品です。



NEWS

超機能カーテン「eco-fine」をご購入のお客様より

【O様】窓に近寄った時の不快感が全然違います。既存のカーテンを替えずに朝度ももちろん良くなり、この夏は快適に過ごせました。今回の注文は西陽で悩む親戚にも紹介した次第です。

【I様】とても美しいカーテンです。驚いています

【A様】家のカーテンを全て注文させていただきました。息子が、温度が違う、カーテンがきれいだと、喜んでます。ありがとうございます(*^▽^*)

【U様】取付後、朝起きた時のモウっとした感じが軽減されたように感じています。暖まるのが少し気になっていたカーテン前に置いてある家具、お手製の熱避けガードが要らなくなりました。

編集後記

今回のNV工程の皆さんの撮影、敵陣ヒーローみたいなイメージにたくて夜な夜な変なメカネを被せたいのですが、思いのほか皆さんが慣れてくれたので大成功。縫製現場の取材は普段一緒に仕事をしている分、お客様にどう説明したらわかりやすいか客観的に情報を切り取るのが難しかったです(泣)

Instagramのフォローを待ちます

日々さまざまなカズマの人モノコトを発信中!

イベントや新商品の告知も

TateYoko Journal 2023 SUMMER
株式会社カズマ 〒910-0123 福井市八重巻町105 0776-56-4006

TateYoko creative shop

MOVE

縫製技術も人柄も素晴らしい! ミャンマーから頼もしい仲間が加わりました

5月から4人のメンバーが本社縫製工場の仲間入り。彼女たち4人は皆ミャンマー人で、本国では何年も服飾の縫製職人をしてきたという経歴ばかりです。「ミャンマーにいる家族を支えたい」という仕事に向き合う強い意志と、素直で真面目で、とても礼儀正しい国民性で、早くも現場の日本人スタッフから大きな信頼が寄せられています。高い品質が求められるカズマの厳しい

環境。その中でも「たくさんルールをちゃんと守っている皆さんはすごいですね」と前向きに語ってくれたのはニソイルンさん。国を問わず、お客様のために、家族のためにと、色々な想いを背負ったメンバー全員が、一丸となって素晴らしいものづくりをしていけたらと思います。



■ミャンマーってこんな国

人口は約5,114万人。国土は日本の約2倍の大きさで、135もの民族を擁する多民族国家です。国民の約9割が仏教を信仰しており、国内には世界三大仏教遺跡「バガン遺跡」をはじめ、多くの仏教が点在しています。

■ミャンマーの現状

2021年に民主化指導者アウンサンスーチー氏が拘束され、現在はミャンマー国軍が国を統治。この軍事政権による多くの戦争犯罪が問題視され、現在も抗議デモや武力衝突が絶えません。諸外国からの経済制裁や治安の悪化によって経済は大きく低迷。貧困層や失業者が増加しており、現在は約4万8000人のミャンマー人が日本で就労しています。

新しい仲間を受け入れるために 皆でこんな企画も実施しました

その名も ミンガラバー活動

ミャンマー語で“こんにちは”の意味

1. 縫製作業動画の作成

言葉が分からなくてもすぐに仕事を理解してもらえよう作業動画を作成。素人ながら動画撮影からテロップ入力まで何でも手直ししながら作りました。

2. 広報誌の発行

ミャンマー実習生を迎えるにあたり、少しでもミャンマーへの理解を深めたいという思いから、ミャンマーの文化や言語、魅力などをまとめた冊子を手作りして全スタッフに配布。

3. 冬物バザーの開催

気候の暖かいミャンマーと比べて福井の冬は極寒。冬物がない彼女たちのために、冬物衣類のバザーを開催。130点以上集まりました。

LIVE

秘 もはや手作業でなく爪作業。幅4mmのリボンを4つ折りで縫い上げる

自然素材100%のカーテンを展開する自社ブランド「KURASIKU(クラシク)」が発売している和紙100%のカーテン「kami」。このカーテンを吊るパーツとなるリボンが、幅がなんと4mm、しかも強度や美しさを考慮して幅約1.5cmの細長〜生地耳のハギレをわざわざ4つ折りにして4mmに仕上げていることが判明!!



秘 大工顔負けのトンカチさばき。仕上りの美しさに妥協なし!

カズマはカーテンだけでなく様々なインテリア雑貨の発注も受けています。そのひとつがクッションで、お客様のご希望に合わせてチャームやタッセルといった装飾をプラスすることも多いです。その縫製現場で目撃したのは無表情でトンカチをたたき続ける富田さん。(怖すぎ...)

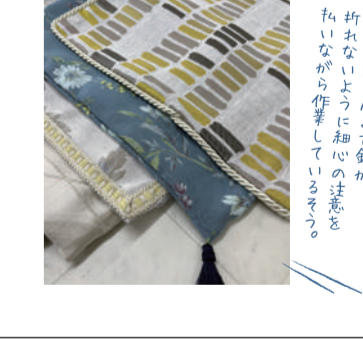


「え、これって顕微鏡とピンセットでやる仕事じゃないの?」と言いたくなる、まさに神業。少し狭めの爪を駆使して、それはそれは器用に、少しずつ折り畳みながら縫っていきます。途中、ほつれがないよう、目打ちという道具で生地の中に押し込んだりしながら針と作業する井戸さん。手から神々しい光を放っていました。

カズマの縫製工場に秘密の特殊部隊? ミシンを巧みに操る 精鋭7人の職人に迫る

カズマの縫製工場には常時170人あまりの縫製職人がいますが、その中に「NV(ニューバリュー)工程」とよばれる縫製を極めたつわもの達が集められる秘密組織(じゃなくて知られざる集団)があるらしい。今回勇気を絞ってその存在をこの目で確かめに行きました。彼女たちの卓越した技術力に迫る!

恐る恐る聞いてみると、豪華な装飾材料は厚みがあるので、重なり合う部分を美しく仕上げるためにトンカチを使っているとのこと(ホッ...)富田さんの仕上りの美しさへのこだわりは、正直素人目にはわからないかもしれませんが、このひと手間をとっても大事にしているそうです。



PRODUCT

開発部女子4人のこだわりが満載。大人気の小窓シリーズ開発秘話

短冊のようにスリットした生地が編み込まれた「hagoromo」シリーズをはじめ、カズマオリジナルの独特のデザインが目を引く5種類の小窓カーテン。お客様からのお問合せも多いこの小窓シリーズの開発秘話を、開発部リーダーの土屋さんに聞きました。



Q. 開発のきっかけは?

A. 日本の住宅が多様化して、形も大きさも本当に多彩な小窓が増えてきました。小窓カーテンにはロールスクリーンやブラインドなどが主流ですが、価格が高い。そこで、手に取りやすい価格の小窓カーテンを作りたいと思いました。

Q. こだわった点は?

A. 通気性と採光性は意識しました。そもそも家に小窓を設置するのは光を少しでも採り入れたいか、開放感を出したいという場所であることが多いからです。その用途と目的をちゃんと叶えてくれるデザインと素材を考えています。

Q. 開発の際に苦労した点は?

A. 価格を抑えるためにオーダーでなく既製サイズ展開にしたため、幅広いサイズに対応できる応用の効いたデザインを考えるのに苦労しました。実現が難しいイメージでも、伝えるとすぐにサンプルを上げてくれる優秀な縫製部の皆さんに感謝です!

Q. お客様に伝えたいことは?

A. 開発メンバー4人が女性ということもあり、他店にはない独創的な装飾性にこだわっています。それを叶えた高い縫製技術も職人技術も、すべてがカズマだからできた技術です。ちょっと個性的な意匠を作りたい方、ぜひ手に取ってみてください。

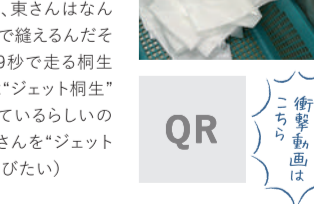
秘 フリフリカーテンは職人の腕が鳴る!? 曲がっているのに寄らない技術

出窓などによくみられるフリフリの装飾カーテンを私たちは「フルデザイン」とよんでいます。このカーテンは全体的に曲線が多く、そこにフリフリやレースを縫い付けると生地が波うつしてしまうので、指で生地をつまみながら縫製するんだそう。



秘 裁断工程にもいた! 約300種類の原反を牛耳るダークホース。

裁断工程はカーテンになる前の前に巻かれた生地(原反)の保管棚があり、約50mにわたって常時300種類以上の原反が並んでいます。実はここにもいるんです。すべての生地の種類と保管場所をぜんぶ記憶している、池の主なるぬめの主が!!



小窓カーテンの詳細はこちら

このカズママイズがわたくしに! あ、それいいやん!

裁断工程にもいた! 約300種類の原反を牛耳るダークホース。

裁断工程はカーテンになる前の前に巻かれた生地(原反)の保管棚があり、約50mにわたって常時300種類以上の原反が並んでいます。実はここにもいるんです。すべての生地の種類と保管場所をぜんぶ記憶している、池の主なるぬめの主が!!

裁断工程はカーテンになる前の前に巻かれた生地(原反)の保管棚があり、約50mにわたって常時300種類以上の原反が並んでいます。実はここにもいるんです。すべての生地の種類と保管場所をぜんぶ記憶している、池の主なるぬめの主が!!

裁断工程はカーテンになる前の前に巻かれた生地(原反)の保管棚があり、約50mにわたって常時300種類以上の原反が並んでいます。実はここにもいるんです。すべての生地の種類と保管場所をぜんぶ記憶している、池の主なるぬめの主が!!